

生産者の方たちが心をこめて 育てた高知の野菜を全国へ！



高知で
働く先輩
No.37

株式会社須崎青果

しも、むら ただ、あき
下村 匡諒さん(出身地/梶原町)

【すざきせいか】
会社・仕事の魅力

□年次有給休暇取得率100% □長期休暇も気兼ねなく取得可能 □かわうそ共済(定期保険)の付与等福利厚生が充実

高知で働きたい方へ メッセージ

知識が増えてくると 仕事が面白くなってくる

社会人になって仕事を始めると、分からないことがいろいろと出てきます。そのときに努力して得た知識が身に付くと仕事がどんどん面白くなります。営業という仕事を通じて、人との関わりを楽しんでもらいたい。



人見知りゆえ、
営業職にあえてトライ
しました！

MESSAGE

築いてきた信頼関係をこれからも大切に、野菜についてもっと知りたい

須崎市を拠点とし、高知県内の新鮮野菜を取り扱う「須崎青果」。ここには、生産量日本一のナスをはじめ、ピーマン、ニラ、オクラなど園芸王国高知が誇る野菜が集まる。これらの野菜は、グループ企業によって鮮度良く全国各地に届けられている。同社は、県内の市場の中でもいち早くー丁化を図りペーパーレスを推進。業務の効率化に取り組んでいる。下村さんは、高校を卒業後に入社。実家が農家だったこともあり、農業は常に身近な存在だった。梶原町の実家では、いまも両親がシシトウやピーマンを栽培している。営業として今年で6年目。産地で栽培される野菜を全国へと繋ぐのが仕事だ。担当するエリアは県東部で、主に安田町、田野町、奈半利町の既存農家さんを訪れる毎日。この時期(8月)はナス農家さんの定植や生育状況等の確認に回っている。新規農家さんを開拓し、出荷交渉をするのも大事な仕事である。飛び込み営業も多く、人見知りだったのが少しは変わった気がする。農家の生産者さんは気さくで親より上の年代の方も多く、生きた知識を得られるのがうれしい。ミニニケーションの大切さを実感する。この春、営業チームに新入社員が入社。自分も後輩に教える立場となった。ともに仕事をすることで、自身も知識を深め再確認する日々。不明なことは、上司に問う姿勢は忘れないようにしたい。そして、後輩に頼られる存在として、これからも知識をどんどん増やしていきたい。

DATA



高知県須崎市妙見町351-1 TEL/0889-42-0665
▷代表取締役社長/市川 義人 ▷創業/昭和32年
▷売上高/72億円 ▷従業員数/42名
HP/<https://www.genkibatake.co.jp/susaki/>

HPをチェック

